

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	HISCL HBeAbキャリブレータ	※HISCL HBeAbキャリブレータは、HISCL HBeAb NC及びHISCL HBeAb PCの構成品です。
製品コード	CN-286-685	
供給者の会社名	株式会社日本凍結乾燥研究所	
住所	東京都清瀬市松山三丁目1番5号	
電話番号	042-492-5329	
ファックス番号	042-492-5392	
電子メールアドレス	jll-hinsho@bcg.gr.jp	
緊急連絡電話番号	042-492-5329	
推奨用途及び使用上の制限	体外診断用医薬品	

2. 危険有害性の要約

GHS分類	HISCL HBeAb NC	HISCL HBeAb PC
物理化学的危険性		
爆発物	分類できない	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない (分類対象外)	区分に該当しない (分類対象外)
エアゾール	区分に該当しない (分類対象外)	区分に該当しない (分類対象外)
酸化性ガス	区分に該当しない (分類対象外)	区分に該当しない (分類対象外)
高压ガス	区分に該当しない (分類対象外)	区分に該当しない (分類対象外)
引火性液体	分類できない	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない (分類対象外)	区分に該当しない (分類対象外)
自己反応性化学品	分類できない	分類できない
自然発火性液体	分類できない	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない (分類対象外)	区分に該当しない (分類対象外)
自己発熱性化学品	分類できない	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない	分類できない
酸化性液体	分類できない	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない (分類対象外)	区分に該当しない (分類対象外)
有機過酸化物	分類できない	分類できない
金属腐食性化学品	分類できない	分類できない
健康に対する有害性		
鈍性化爆発物	分類できない	分類できない
急性毒性 (経口)	分類できない	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない (分類対象外)	区分に該当しない (分類対象外)
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	分類できない	分類できない
皮膚腐食性 / 刺激性	分類できない	分類できない
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	分類できない	分類できない
呼吸器感作性	分類できない	分類できない
皮膚感作性	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	分類できない	分類できない
生殖毒性	分類できない	分類できない
生殖毒性・授乳影響	分類できない	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない	分類できない
環境に対する有害性		
誤えん有害性	分類できない	分類できない
水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない	分類できない
水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない	分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	HISCL HBeAb NC	HISCL HBeAb PC
	混合物	混合物

4. 応急措置 ※HISCL HBeAb NC、HISCL HBeAb PC共通		
吸入した場合		新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合		すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合		水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトを容易に取り外せる場合は外して洗うこと。目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合		口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項		個人用保護具を着用すること。
5. 火災時の措置 ※HISCL HBeAb NC、HISCL HBeAb PC共通		
適切な消火剤		現場状況と周囲の環境に適した消化方法を行うこと。
使ってはならない消火剤		利用可能な情報はない
火災時の特有の危険有害性		熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
特有の消火方法		利用可能な情報はない
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置		消火の作業の際は、必ず保護具を着用する。
6. 漏出時の措置 ※HISCL HBeAb NC、HISCL HBeAb PC共通		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項		漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。汚染された廃水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材		乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
回収、中和		利用可能な情報はない
二次災害の防止策		環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。
7. 取扱い及び保管上の注意 ※HISCL HBeAb NC、HISCL HBeAb PC共通		
取扱い	技術的対策 注意事項	添付文書をよく読むこと 取り扱いには換気のよい場所で行う。 適切な保護具を着用する。取り扱い後は、手や顔などをよく洗う。
保管	安全取扱い注意事項 保管条件 安全な容器包装材料	皮膚、眼及び衣類との接触を避ける。 容器は遮光し、冷所（2～8℃）に密閉して保管する。 一体化している試薬容器及びケース（すでに提供している）を使用する。
8. ばく露防止及び保護措置 ※HISCL HBeAb NC、HISCL HBeAb PC共通		
設備対策		屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	必要に応じて防塵マスクを着用する。 保護手袋 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡） 長袖作業衣
9. 物理的及び化学的性質		
物理的状態	物理状態	
色		HISCL HBeAb NC 液体
臭い		HISCL HBeAb PC 液体
融点・凝固点		無色～淡黄色
沸点又は初留点及び沸点範囲		無色～淡黄色
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		7.0
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分分配係数（log値）		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
その他データ		データなし

1 0. 安定性及び反応性 ※HISCL HBeAb NC、HISCL HBeAb PC共通

反応性	データなし
化学的安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の処理では無し
避けるべき条件	高温と直射日光
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

1 1. 有害性情報

	HISCL HBeAb NC	HISCL HBeAb PC
急性毒性（経口）	分類できない	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	分類できない	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない	分類できない
呼吸器感受性	分類できない	分類できない
皮膚感受性	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	分類できない	分類できない
生殖毒性	分類できない	分類できない
生殖毒性・授乳影響	分類できない	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない	分類できない
誤えん有害性	分類できない	分類できない

1 2. 環境影響情報

	HISCL HBeAb NC	HISCL HBeAb PC
生殖毒性	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない
水生環境有害性（短期/急性）	分類できない	分類できない
水生環境有害性（長期/慢性）	分類できない	分類できない
残留性・分解性	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない
生態蓄積性	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない
土壌中の移動性	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない	利用可能な情報はない

1 3. 廃棄上の注意 ※HISCL HBeAb NC、HISCL HBeAb PC共通

残余廃棄物	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。廃棄するには大量の水と共に流すこと。
汚染容器及び包装	廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	ADR/RID（陸上）	規制されていない
	IMDG（海上）	規制されていない
	IATA（航空）	規制されていない

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当

1 6. その他の情報

このSDSは、JIS Z 7253:2019に準拠して作成しております。記載内容は、体外診断用医薬品の構成成分としての取り扱いを対象としたものであって、他の物質と組み合わせるなど特殊な取り扱いには行わないでください。

作成日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を入手した場合には追加または訂正されることがあります。

また、含有量、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。すべての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。